

## 第 91 回新潟中央メーデーへの訴え

今年で 100 年目となる第 91 回メーデーにご参集の働く仲間のみなさん、大変ご苦労様です。社民党新潟県連合代表の小山芳元です。

新型コロナウイルスが世界で猛威を奮い、日本でも感染者が増え続け、不要不急の外出自粛等が求められるなど、日常活動の至る所に大きな影響を及ぼしています。

とりわけ立場の弱い労働者に対し、内定取り消しや、パートやアルバイト、派遣で働いている人たちの休業、雇い止めの問題が発生するなど、極めて遺憾な状況にあります。

こうした事態に対し社民党は、労働者の雇用と労働環境を守り、自粛要請に伴う休業補償、中小企業の支援対策の強化など、緊急な実施を求め全力をあげて取り組みます。

香港や台湾では、新型コロナウイルスの感染者をゼロに封じ込める日が出るなど対策の効果が表れているにも拘わらず、日本では安倍政権の後手後手の対策で、感染者の拡大を招いている実態にあり、危機管理のなさを露呈しています。

また、新型コロナウイルス問題に隠れていますが、森友学園問題における自殺者の告発問題や、カジノ疑惑問題、桜を見る会の問題、河井国会議員夫婦の公職選挙法違反問題など、安倍一強による長期政権のウミが至る所に噴出し続けています。

こうした政治に歯止めをかけるためには、市民と野党の結集をより一層強固なものにし、新潟が政治を変える原動力になっていかなければなりません。引き続き社民党は、市民と野党の結集の要として全力をあげます。

働く仲間の皆さん、労働者の雇用を守り、立憲主義、民主主義、平和主義を回復させるため、共に頑張りましょう。

第 91 回メーデーに当たり、連帯のメッセージといたします。

2020 年 4 月 29 日

社会民主党 新潟県連合

代表 小山 芳元